



# 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 フジプレミアム株式会社

コード番号 4237 URL <http://www.fuji-pream.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 松本倫長

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員専務 IR・広報部長

(氏名) 大川拓志

TEL 079-266-6161

四半期報告書提出予定日 平成28年2月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	8,767	△34.3	607	△48.7	619	△48.7	368	△48.7
27年3月期第3四半期	13,353	37.2	1,183	22.3	1,207	14.5	718	35.6

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 358百万円 (△50.8%) 27年3月期第3四半期 730百万円 (25.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	12.91	—
27年3月期第3四半期	25.16	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	16,617	8,667	51.4
27年3月期	18,566	8,480	45.0

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 8,535百万円 27年3月期 8,352百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	6.00	6.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成28年3月期の期末配当予想は未定であります。

## 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	17,012	3.2	1,501	16.9	1,508	7.6	829	2.6
								29.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	29,786,400 株	27年3月期	29,786,400 株
28年3月期3Q	1,211,461 株	27年3月期	1,211,461 株
28年3月期3Q	28,574,939 株	27年3月期3Q	28,574,939 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府や日銀による経済対策と金融政策を背景に、緩やかな回復基調が見られるものの、中国をはじめとする新興国経済の減速等、海外での景気下振れリスクの懸念により、先行きは不透明な状況となっております。

このような状況の中、当社グループの主力事業である精密貼合及び高機能複合材部門におきましては、ディスプレイ材料の流通在庫の調整の影響により、低調に推移いたしました。また、環境ビジネス部門におきましては、再生可能エネルギー固定価格買取制度の見直しの影響を受け、厳しい市場環境となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高8,767百万円（前年同四半期比34.3%減）、営業利益607百万円（同48.7%減）、経常利益619百万円（同48.7%減）を計上し、親会社株主に帰属する四半期純利益は368百万円（同48.7%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

## 精密貼合及び高機能複合材部門

国内外におけるディスプレイ市場は、4Kテレビや裸眼3D等の高付加価値タイプのディスプレイ市場が成長し、また、タッチパネル市場におきましては、中大型の静電容量方式の市場が拡大し、産業用分野や教育分野、そしてアミューズメント分野等に使われる用途が広がっております。しかしながら、当社取扱いのディスプレイ材料の流通在庫の調整が影響し、当第3四半期において出荷量が低調となりました。このような市場の変化の中、精密貼合技術やダイレクトボンディング技術を活用し、新規生産設備の導入による生産の高度化を実施、更に、独自の技術を活かしたLED関連事業や新素材加工事業を推進し、新規ビジネスへの取組みを強化してまいりました。

この結果、売上高6,323百万円（前年同四半期比27.5%減）、営業利益374百万円（同53.0%減）となりました。

## 環境ビジネス部門

太陽電池の国内市場は、固定価格買取制度の運用見直しと買取価格の低下、また、海外生産品による価格競争の激化により、産業用市場の環境が急激に厳しさを増しました。このような状況に対応すべく、OEM供給品の生産量の拡大、超軽量太陽電池モジュールの更なる拡販、追尾型太陽光発電・蓄電池システム等の新規システムの開発・販売等の施策を実施してまいりました。

この結果、売上高2,444百万円（前年同四半期比47.2%減）、営業利益219百万円（同41.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が16,617百万円となり、前期末比1,948百万円の減少となりました。主なプラス要因は、商品及び製品の増加859百万円、仕掛品の増加307百万円等であり、主なマイナス要因は、現金及び預金の減少1,836百万円、受取手形及び売掛金の減少1,034百万円等であります。

負債は7,949百万円となり、前期末比2,136百万円の減少となりました。主なプラス要因は、短期借入金の増加100百万円等であり、主なマイナス要因は、1年内返済予定の長期借入金の減少452百万円、長期借入金の減少1,161百万円等であります。

また、株主資本は利益剰余金の増加197百万円により8,498百万円となり、純資産は8,667百万円となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成27年5月15日に発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,872,197	5,035,646
受取手形及び売掛金	2,556,828	1,522,631
商品及び製品	1,345,865	2,205,582
仕掛品	307,806	615,284
原材料及び貯蔵品	770,663	857,752
その他	404,336	169,688
貸倒引当金	△6,797	△1,976
流動資産合計	12,250,899	10,404,609
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,181,724	2,084,720
土地	2,266,490	2,266,490
その他(純額)	1,461,156	1,474,889
有形固定資産合計	5,909,371	5,826,100
無形固定資産		
その他	9,408	5,133
無形固定資産合計	9,408	5,133
投資その他の資産		
退職給付に係る資産	24,971	29,868
その他	376,477	356,489
貸倒引当金	△4,662	△4,662
投資その他の資産合計	396,786	381,695
固定資産合計	6,315,565	6,212,929
資産合計	18,566,465	16,617,539

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,279,708	1,101,042
短期借入金	2,250,000	2,350,000
1年内返済予定の長期借入金	2,121,220	1,668,720
未払法人税等	308,311	8,995
賞与引当金	14,718	3,560
その他	224,473	110,641
流動負債合計	6,198,432	5,242,960
固定負債		
長期借入金	3,712,240	2,550,260
その他	175,620	156,725
固定負債合計	3,887,860	2,706,985
負債合計	10,086,292	7,949,946
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,000,007	2,000,007
資本剰余金	2,440,803	2,440,803
利益剰余金	4,724,340	4,921,723
自己株式	△863,890	△863,890
株主資本合計	8,301,261	8,498,643
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,316	23,430
為替換算調整勘定	9,574	13,245
その他の包括利益累計額合計	50,890	36,675
非支配株主持分	128,021	132,273
純資産合計	8,480,173	8,667,592
負債純資産合計	18,566,465	16,617,539

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	13,353,142	8,767,762
売上原価	11,353,083	7,431,836
売上総利益	2,000,059	1,335,925
販売費及び一般管理費	816,164	728,421
営業利益	1,183,894	607,504
営業外収益		
受取利息	4,126	6,874
為替差益	35,150	7,362
固定資産賃貸料	1,045	888
その他	15,530	15,935
営業外収益合計	55,853	31,060
営業外費用		
支払利息	26,061	18,700
リース解約損	5,900	—
その他	150	508
営業外費用合計	32,112	19,209
経常利益	1,207,635	619,355
特別損失		
固定資産除却損	9,868	—
ゴルフ会員権評価損	3,909	—
特別損失合計	13,777	—
税金等調整前四半期純利益	1,193,857	619,355
法人税、住民税及び事業税	471,703	214,958
過年度法人税等	△37,794	—
法人税等調整額	32,343	31,312
法人税等合計	466,251	246,271
四半期純利益	727,605	373,084
非支配株主に帰属する四半期純利益	8,801	4,252
親会社株主に帰属する四半期純利益	718,804	368,832

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	727,605	373,084
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,815	△17,885
為替換算調整勘定	△3,296	3,670
その他の包括利益合計	2,518	△14,215
四半期包括利益	730,124	358,868
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	721,322	354,616
非支配株主に係る四半期包括利益	8,801	4,252

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。